

「ほっかいどう防災ひろば in チ・カ・ホ」に参画

～ステージプログラム・展示ブースで地震災害への備えを呼びかけ～

日本損害保険協会北海道支部(委員長:鈴木 恵子・東京海上日動火災保険株式会社 常務執行役員)は、2025年1月13日(月)に札幌駅前通地下歩行空間で開催された「ほっかいどう防災ひろば in チ・カ・ホ」に参画しました。

「ほっかいどう防災ひろば in チ・カ・ホ」は、災害に備えるために役立つ防災情報を楽しみながら学ぶことができるイベントで、「ほっかいどう防災教育協働ネットワーク」に参加する企業や団体、行政機関等が連携して実施しています。同ネットワークには当支部も参加しており、1月13日のイベントでは、ステージプログラムでの講演およびブース展示を行いました。

ステージプログラムでは、「地震後について、考えたことがありますか?」と題して、地震後の生活再建のために必要となる資金の額や地震保険に関する講演、地震が起きたときの室内の状況をVRで体験する「地震こわれる診断VR」の実演などを行いました。

また、展示ブースに来場された多くの方にも「地震こわれる診断VR」を体験いただき、地震に対する備えの重要性について振り返っていただきました。

当支部では、今後も自治体や関係団体等と連携しながら、地震保険の普及促進に向けて取組んでまいります。

<ステージプログラムの様子>



<展示ブースの様子>



■地震こわれる診断VRは、下記URLより体験いただけます。

[地震こわれる診断VR | 日本損害保険協会](#)